

Safe & Clean Aclear
高性能グラスウール断熱材



ボクの名前はアクリアくん。
お家の壁、床、天井の中から
お部屋の快適温度を守る断熱材です！
お家で過ごす家族が
一年中快適で健康に暮らせるように
外の厚さ、寒さから守っています。



冬、暖房しても部屋全体が温まらず足元が寒い。夏、冷房が効きにくい。
こんな不快感も、アクリアでしっかり断熱すると解消できる。
心地いい部屋になるよ。



冬、同じ室温でも快適さが違う！

同じ温度でもカラダが感じる温度(体感温度)が違うことをご存知ですか？例えば気温30℃の時、道路と緑の多い公園にいるのではどちらが涼しく感じられるでしょう。
下の図は断熱性能が高い家と低い家で、同じ室温20℃で体感温度がどのくらい違うか示したものです。室温が同じでも、床、壁の表面温度が低いと寒く感じられることがわかります。断熱性能を高めると表面温度が上がります、室温20℃でも十分暖かく感じられるようになります。

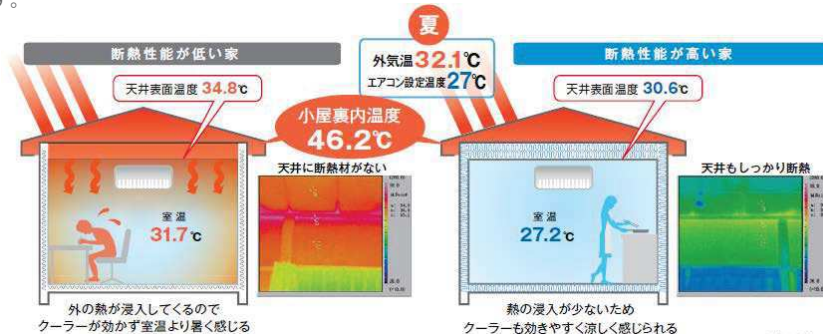


2020年を見据えた住宅の断熱化技術開発委員会(HEAT20)/コンセプトより作成



夏、クーラーが効くようになる！

断熱性能を高めることでクーラーが効きやすくなり、夏もグンと過ごしやすくなります。
特に夏は小屋裏内の温度が50℃近くまで上がるため、天井に断熱材を施工していないと小屋裏の熱が伝わり天井の表面温度が上がるため、同じクーラーの設定温度でも暑く感じられます。
天井にもしっかりと断熱材を入れ、建物の断熱性能を高めることで、27℃設定でも涼しく快適に過ごせます。



弊社測定値より

天井

アクリアマットアルファ
Aclearmat α

厚さ155mm 熱抵抗値R4.6



超細繊維による高断熱グレード
平成26年度省エネ大賞受賞

熱伝導率
0.034
(W/(m·K))



壁

アクリアネクスト
Aclearnext 14K

厚さ105mm 熱抵抗値R2.8



○平成28年省エネルギー基準対応の防湿フィルムを採用。

防湿性能 JIS A 6930 同等品 測定条件: JIS Z 0208, 1976
フィルム厚さ: 50ミクロン 透湿抵抗値: 0.123(m²·s·Pa/ng)

○断熱材の四辺に防湿気密フィルムの大きな耳が付いているので、確実な防湿気密施工ができます。

吉野石膏グループ

FIBER + GLASS

旭ファイバーグラス株式会社

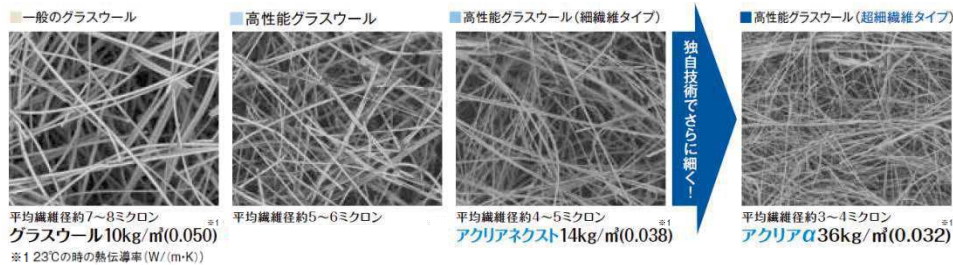
天井・壁・床用断熱材 アクリア 高性能グラスウール

アクリアは、快適・健康・安全・経済性に優れた高性能グラスウール断熱材です。

アクリアの快適性能

最新の細繊維化技術によってすぐれた断熱性能を実現

グラスウールは、細いガラス繊維が絡み合っつくられる空間(動かない空気の小部屋)によって、熱を伝えにくくしている断熱材です。アクリアは、この繊維をさらに細く、たくさんの繊維を絡み合わせることで、より高い断熱性能を実現した高性能グラスウールです。



20年経っても快適 断熱性能が変わりません。

アクリアは、長い年月を経ても極めて性能が劣化しにくい、耐久性の高いグラスウール断熱材です。建築後約18年~22年経った木造住宅の壁の中のグラスウールを調べたところ、寸法、断熱性能とも変化なく、新築時と変わらない性能を保っています。



騒音に強い静かな住まいに

グラスウールは吸音性に優れており、劇場の音響調整や防音対策にも使われています。断熱材として施工することで、室外からの騒音をやわらげます。



アクリアの健康性能

シックハウスの原因となるホルムアルデヒドを使用していません。



アクリアはノン・ホルムアルデヒド。ご家族の健康と安心に配慮して、ホルムアルデヒドを一切含まない材料を使用して製造しています。ホルムアルデヒドはシックハウス症候群との関連だけでなく、発がん性も指摘されている有害物質のひとつです。



アクリアの安全性能

ガラスが主原料なので、火に強く燃えにくい材料です。

ガラスを原料としたアクリアは、燃えにくい温度に強いので、万一の火災時にも延焼や類焼の被害を最小限に抑えることができます。万一燃えても、煙や有毒ガスは発生しません。



発がん性に対しても安心です。

アクリアは安全なグラスウールです(アスベストとは全く別の素材)。その安全性は国際的にも高く評価されています。

グループ	ヒトに対して発がん性がある	アスベスト、ホルムアルデヒド、たばこなど
グループ 1	ヒトに対して発がん性がある	アスベスト、ホルムアルデヒド、たばこなど
グループ 2A	ヒトに対して発がん性でありうる	ディーゼル排気ガス、紫外線など
グループ 2B	ヒトに対して発がん性の可能性がある	ガンソリン、ビクスル、コーヒーなど
グループ 3	ヒトに対して発がん性に分類されない	グラスウール、ナイロン、紅茶など
グループ 4	たぶんヒトに対して発がん性がない	カプロラクタム1品種のみ

国際がん研究機関 (IARC) モノグラフVOL.88より

ガラス繊維はアスベストとは異なり、結晶ではないので、体内には残りません。万一、施工中に吸い込んだとしても、肺に入り込みにくく、入り込んでも体液に溶けて排出されます。

断熱材が可燃か、不燃かで火災時の安全性が大きく違います。

隣家で火災が発生すると、出火から30分程度で外壁は800℃を超える高温にさらされることになります。断熱材の中には可燃性のももあり、発火したり、溶けて煙や有毒ガスを発生させる場合もあるので、断熱材が不燃材であることが万一のときの大きな安心につながります。アクリアはガラスが主原料なので、万一の火災時にも燃えにくく、煙や有毒ガスをほとんど発生させないので安心です。火の進行を遅く、類焼や延焼を防ぎます。

